



広報

あぐね

第418号

住民基本台帳人口と世帯数

(11月1日 現在)

人	口	30,274 (-9)
	男女	14,136 (-3)
	女	16,138 (-6)
世帯	数	9,578 (-2)
()		内は前月比

昭和56年11月10日

鹿児島県阿久根市役所編集発行



「大きなイモとれたよ」

頭ほどのイモを掘り当て、「ワァー—大きなおイモ」と歓声をあげる子。小さなイモを見つけ、「かわいいね」と喜ぶ子。

市内中村の赤瀬川児童館で、十月十二日イモ掘りを行い、土への感触を楽しんだ。

イモ掘りには園児全員が参加、児童館から五百ほど離れたイモ畑へ。思い思いの場所に座った園児たちは、かわいいシヨヘルを使いイモ掘りを始めた。

イモの白い肌が見えると大喜び「ワァーあった。」「へんなかたち」イモ畑は元気な園児たちの歓声で大にぎわい。「先生どうしてイモは白いの」とたずねる子もあり、先生もタジタジ。

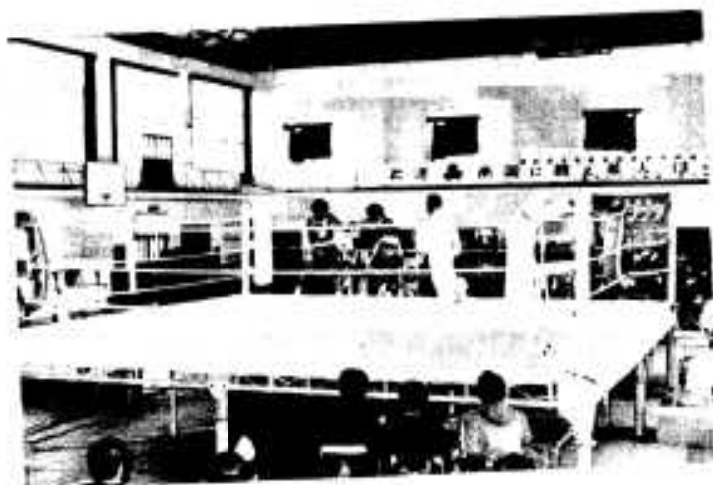
収穫されたイモはきんぎょ二時のおやつに出され園児たちは「ぼくのとったイモだ」とおもしろい食へ満足していました。

11

月号

みんなで盛りあげよう 全国高校総合体育大会

昭和五十七年八月鹿児島県で開催される全国高等学校総体大会へ向けて着々と準備が進められています。この大会の初めでのリハーサルを兼ねた県下高等学校ボクシング新人選手権大会が十月二十三・二十四日の二日間阿久根高校で行なわれ、高校生などの協力により総体への盛りあがりを見せました。



▶本番どおりのリハーサル大会

高校生の協力でリハーサル大会

◇県下高校ボクシング新人選手権大会◇

九カ月後に迫った高校総体は五十七年八月一日から七日までの六日間、本市では市民体育館を会場に全国から若人四百人が参加し、ボクシングの競技が行なわれることになりました。

この大会に向けて本市でも本格的な取り組みが進められ、今年一月には市内の各種各層団体二百五十人からなる高校総体準備委員会を結成し、四月一日からは実行委員会を発足させて準備を進めています。実行委員会の発足に伴い、市では、高校総体事務局を設置し、専任の職員を置いて作業を進めており、すでに駅前、大川、折口の国道三号沿い

に広告塔を建て、市民へのPRにむけて盛りあがりを図っています。第一回目のリハーサルを兼ねた県下高等学校ボクシング新人選手権大会には県下五つの高校から二十六人の選手が参加し、各クラス

地域一帯となつて

高校総体への取り組みを

リハーサル大会としては規模の小さい大会でしたが、事務局では高校生の協力により、総体への意気を盛りあげるには十分なリハーサル大会であったと大会運営に自信を深め、今後は六つの専門委員会を早速に発足させ、各専門部ごとに大会への取り組みを強化することにしています。

大会には全国から多くの選手や

で熱戦が展開されました。大会は本番通りのスケジュールで式典、試合などが行なわれ、本大会に補助員として協力をお願いしてある阿久根高校、阿久根農高出水工業、野田女子高の二百人の先生、生徒も参加し、開会式での行進、アナウンス、試合での計時などにテキパキとあたっていました。

この日は日本高校体育連盟ボクシング専門委員長阿久根市を訪れ、大会を視察し、会場設置や大会運営等について指導していただきました。

役員等が本市を訪れることが予想され、阿久根のよさを全国の人々に知ってもらう絶好の機会です。現在老人クラブ、婦人会、青年団各自治公民館を中心に花いっぱい運動など美化活動も積極的に進められています。更に高校総体へ向けて、地域一体となった環境整備、美化活動を進めていく必要があります。

最近に迫った高校総体に、私たち一人ひとりが理解を示すことによつて大会を盛りあげ、成功させましょう。



▲国道沿いに完成した広告塔も



保健センター・働く婦人の家着工

来年三月完成 総事業費約三億二千五百万円

鉄筋コンクリート造り二階建て、総事業費約三億二千五百万円の保健センター・働く婦人の家の建設がいよいよ始まりました。市民の健康づくりの拠点となるこの会館、来年の三月末には完成の予定です。



基礎工事が進む保健センター・働く婦人の家の工事現場

市民の健康づくりと、家庭や職場で働く婦人の研修の場にと、市が建設を決定していた保健センター、働く婦人の家の起工式が十月六日建設場所の職業安定所阿久根出張所で行われ川畑市長、県、市関係者ら六十人が出席し、神事のおと川畑市長がクワ入れをして工事の安全を祈願しました。



完成予想図

二・三階が働く婦人の家で、併設した建て物となっています。

施設の概要は、一階の保健センターには乳幼児の健康等について指導する指導室、歯科診療室、栄養指導室、軽運動室、全館を管理する事務室など。

二階の働く婦人の家には、流し台を備えいつでも料理の実習ができる料理室、百人収容の講習室、お茶や生花などの講習の場に相室の講習室、相談室、託児室など。

三階は、主にスポーツや体力づくりの会館としての機能が備えられており、軽い運動が楽しめるようにスポーツ器具を備えた軽運動室、トレーニング室（大会議室）、子供たちの学習の場に図書室、学習室となっています。

市民が待ち望んでいた保健センター、働く婦人の家は、来年三月には完成の見通しで、市民の健康福祉増進の拠点として、その役割を大いに果たすものとして期待されています。

ご冥福を
お祈りします

前売り券発売中

映画案内

典子は、今

12月4日～12月5日

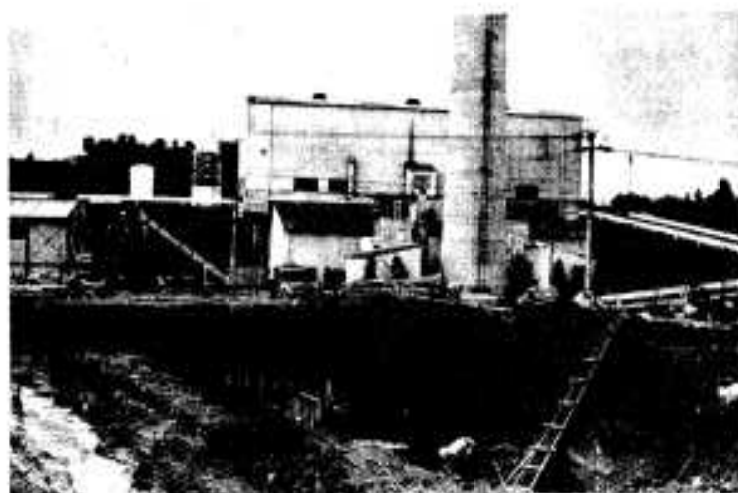
阿久根市民会館大ホール

共催 阿久根市社会福祉協議会
阿久根市身体障害者福祉協会

福祉協議会・身障者協会

田畑	川保	松本	西濱	山平	野村	石原	石原	洲崎	平国	花本	岩崎	前田	神田	谷口	堀切	福崎	水口	下路	大平	下路	下路	水口	福崎	堀切	谷口	神田	前田	岩崎	花本	平国	洲崎	石原	石原	野村	山平	西濱	松本	川保	田畑	
サダ	武助	マツノ	進	トモ	次郎	早助	長之助	アケノ	正高	エイノ	由美	納	田スメ	フチ	直哉	カメ	貞	貞	重太郎	重太郎	マサヨ	貞	カメ	直哉	フチ	田スメ	納	由美	エイノ	正高	アケノ	長之助	早助	次郎	トモ	進	マツノ	武助	サダ	
80	84	70	73	73	93	78	84	85	77	76	0	58	79	75	75	83	71	99	85	83	99	71	83	75	79	58	0	76	85	84	78	93	73	73	70	84	80	80		
(瀬之下)	(上原)	(上原)	(協本)	(小)	(黒之浜)	(大)	(大)	(黒之浜)	(長野)	(中原)	(寺)	(長野)	(高之口)	(尾崎)	(浦)	(上野)	(段)	(波留)	(波留)	(波留)	(波留)	(段)	(上野)	(浦)	(尾崎)	(高之口)	(長野)	(寺)	(中原)	(長野)	(黒之浜)	(黒之浜)	(小)	(協本)	(上原)	(上原)	(瀬之下)	(瀬之下)		
千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千	千

丸内に粗大ゴミ処理場を建設 二市二町で



阿久根、出水、高尾野、野田の二市二町でつくっている北薩衛生処理組合では、管内から出されるゴミをこのゴミ処理場に集め処理していますが、粗大ゴミの収集は

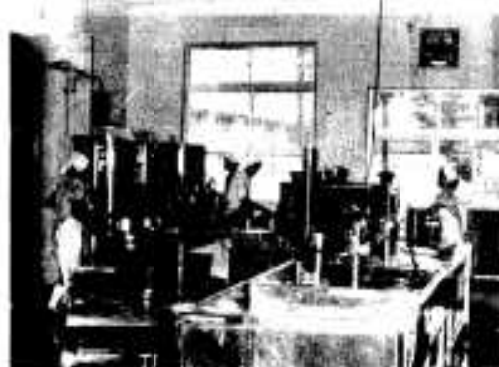
不用になったテレビ、冷蔵庫、洗濯機、家具などの粗大ゴミを処理する、粗大ゴミ処理施設の起工式がこのほど市内丸内にある北薩衛生処理組合ゴミ処理場で行われ、川畑市長をはじめ、関係者ら三十九人が出席、工場の安全を祈願しました。

完成後は県下一の施設に

総事業費約二億八千万円

行っていませんでした。

しかし、最近各家庭から出される粗大ゴミの量も多くなり、管内の二市二町では対策に頭を痛めており、今度の処理場建設に踏み切ったものです。



近代的な給食室が完成 — 脇本小学校 —

総工費千七百七十万円で新築中だった脇本小学校の給食室が完成、十月二十二日から給食が再開されました。

鉄筋コンクリート造りの建物は、面積百三十平方メートル。以前の建物に比べ室内も広く、衛生面にも万全を期してあり、回転がまなど近代的な器具も設置されています。

▲完成した給食室

計画では、収集された粗大ゴミを破砕機でこなごなに砕き、これを自動的に鉄粉やアルミ粉、燃える物、不燃物に分けて取り出し、鉄とアルミは売却、燃えるものは焼却場でやき、もえないものは埋めて処理する計画で処理能力は一日二十トン。

施設は、鉄筋コンクリート造り面積約四百四十平方メートル。総工事費約二億八千万円を予定し、来年の三月には完成予定で、県内では最大の粗大ゴミ処理場となります。

親子読書巡回

セミナーを開催

十一月二十七日市民会館で鹿児島県立図書館と市の教育委員会主催による、昭和五十六年度親子読書セミナーが開催されます。

県では、昭和三十五年から親子読書運動を推進し、読書や本を中心とした親子の語り合いを通して読書習慣の形成に努めています。

この巡回セミナーは、日常の親子読書について、さらに広い視野からその望ましい姿を研究し、今後ますます楽しい親子読書ができることを願って開かれるものです。

市民多数のご参加をお願いします。

○とき 十一月二十七日(金)
午前十時から十六時
○ところ 阿久根市民会館大ホール

◆本年の所得税第二期分の納期は十一月三十日まで

本年の所得税の予定納税第二期分の納期限は十一月三十日です。

第二期分の予定納税額がある方には、税務署から通知をさしあげてありますので、納期限内に納めていただくようお願いいたします。

毎日が防火デーです ぼくの家

11月26日～12月2日 秋の火災予防期間



▲こうなつては遅すぎる。市内で発生した火災

いよいよ火気を多く取扱う季節がきました。今年も、秋季全国火災予防運動

「船検」は済みましたか

— 小型漁船の船主のみなさん —

小型漁船の船主のみなさん、船検はもう済みましたか？白動車に車検があるように、船舶にも「船検」——船舶検査があります。これは、船舶の構造及び設備などについて、航行の安全を確保できるものであるかどうかをチェックするもので、船舶安全法に基づいて実施されています。

現在、締結数二十、未満の小型漁船のうち、海岸から十二呎を超えて二十呎未満の水域で操業するすべてのものについて、建造年月日の古いものから、段階的に「船検」が行われています。このうち昭和五十五年三月三十一日以前に建造されたものは、昭和五十七年三月三十一日までに検査を受けなければならぬことになってい

ます。また、昭和五十五年四月一日以後に建造されたものは建造と同時に検査を受けなければなりません。「船検」の期限を過ぎてなお無検査で航行した場合は、船舶安全法違反に問われ一年以下の懲役または三十万円以下の罰金が科せられることになっておりますので、必ず検査を受けてください。「船検」について詳しくは市の水産課にお問い合わせください。



阿久根市での火災件数

年度	55年度	56年 11月-9月
発生件数	24件	18件
建物	16 "	6 "
林 際	6 "	2 "
その他	7 "	10 "
損害額	26374	24457

が、この十一月二十六日から十二月二日までの一週間実施されます。この運動は、火災が起りやすい時季を迎え、国民一人ひとりの防火意識の向上を図り、火災の発生を防止し、悲惨な焼死事故や財産を守ることをねらいとしています。昭和五十五年度の全国の火災件数は五万九千八百八十四件、死者は千百九十九人で、前年に比べ減少しました。しかし、体の不自由な方や幼児、お年寄りなどによる焼死は後をたまたず全体の半数を占めています。本市での火災件数の状況は表のとおりで、建物火災については減少の傾向にありますが、ほかは例年並みとなっております。すでに焼死者も一人出ています。

冬の暖房

火の用心と換気の用心
酸欠事故をなくそう

このようなことから、今回は身体不自由者などを中心とした焼死防止、家庭における防火対策などを重点目標としています。各家庭でも、火災の未然防止のため火気の取扱い、後始末には十分注意しましょう。

明るい選挙啓発

テレビ放送の案内

このたび、明るい選挙推進の事業の一つとして、政治、選挙の倫理化をテーマにしたテレビ番組、「選択のしおり」がテレビで放映されます。ぜひごらんください。

○放映日時 十月から十二月までの毎週日曜朝六時半から四十五分までの十五分間、鹿児島テレビ(KTS)で。

○内容 「選択のしおり」と題し森繁久弥さんら各界の名士十三人に「愛・人生・政治」について聞きます。聞き手は、藤田弓子さん。

共同募金

— 12月末日まで —

「赤い羽根」で国民に広く親しまれている、共同募金運動がことしも十月から十二月末日まで行われています。

明るい社会を築くために、社会連帯の輪を広げるこの運動に、ご協力とご理解をお願いします。

12月4日から

人権週間

「お互いに相手の立場を考慮して豊かな人間関係をつくろう。」

総合で山下校区が優勝

第五回市民運動会は、体育の日の十月十日、市の総合グラウンドで行われ、校区対抗の「ピンコロがし」、「ボールは踊る」、園児たちのマスケームなど、幼児からお年寄りまで多くの市民が参加して、一日体力づくりに汗を流しました。

午前八時五十分、阿久根小学校二百七十人の鼓笛隊パレードで開会式が始まり、臨本校区を先頭に十二チーム千二百人の



▲ 力強く宣誓する臨本校区の 山下正雄さん

) 第五回 (

秋晴れさわやかに市民運動会



▲ グラウンドーばいに園児たちがかわいい遊戯を披露



▲ ジャンケンの強い人集まれ。優勝した上野重春さん (右)



▶ 校区の期待を担って力走、バトンタッチする、中学生リレー

▶ 玉入れもなかなかむずかしい「時間が無い、早く早く」





▲ 開会式に花をそえた阿小鼓笛隊のパレード



選手が堂々の入場行進を
しました。

川畑市長の開会のあい
さつのもと、協本校区の
山下正雄さんが「正々堂
々競技します。」と力強
く宣誓しました。

競技は、小学生五、六
年生の百回走から始まり、
二十一種目に熱戦が繰り
ひろげられ、総合で山下
校区が優勝しました。

総合成績

一位 山下 二位 西
目 三位 大川 四位
協本 五位 折多・阿久
根北・田代

坂元さんらを表彰

体育功労者など十二人

この日は、スポーツ振興に尽力
された体育功労者 五名、国体選手
二名が、また、市民運動会ポスタ

「作品の部では、八名の入賞者が
それぞれ表彰を受けました。写
真は表彰を受ける坂元さん（左）
社会体育功労者

坂元善文さん 羽田義成さん
優秀選手（今年の国体選手）

大尾哲郎さん 松田真美さん
ポスター作品入賞者

○特選 森田直也君（阿小）
別府雄志君（三笠中） 鳥飼浩
明君（同）

○入選 小牟田京子
さん（阿小） 川畑
幸三君（大川小）

尻無浜司君（大川中
八郷克也君（単人中
石沢豊樹君（同）



▶ 今年「みんなじょうずでした」
「ボールは踊る」



▲ 中・高・一般による1500米走 がんばれ！



▶ かわいいユニホームと
横断幕をかけた入場



▶ 入場行進も堂にいったもの
西目校区選手団

申込みは24日まで

市内駅伝大会

今年もまた、阿久根の冬の
名物行事となった、市内駅伝
大会が十一月二十九日（日）
実施されます。

この大会には、青年団、職
城、一般チームに多くの選手
が出場し、沿道をわかせ、に
ぎわいます。

今年の締切りは、二十四日
まで、参加希望のチームは早
目に申込んでください。

申込先 阿久根スポーツ
落さんまで。

「オタガイガンバロウ」

在日ニュージーランド大使館から
キウイフルーツを視察

生産農家を励ます。



▲視察に訪れたハンターM・ドナルドソンさん



の桐野地区を訪れ、「品質向上のためお互いががんばりましょう」と生産農家を激励しました。一行は、ハンターM・ドナルドソンさん(三八)一等書記官ら通訳を含め四人。

キウイフルーツの本場、ニュージーランドの在日大使館の一等書記官らが、キウイフルーツの栽培状況を視察のため、十一月一日協本

「ちよっと一杯だけ」が命とり



年末はとくに多い!

お酒のおいしい季節となりました。とくに十一月には忘年会など酒を飲む機会が多くなりますが、同時に飲酒運転による交通事故も増えます。「ちよっと一杯だけ」が命とりになります。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバーの一人ひとりが自覚し、これを守るようにしましょう。



日本に輸出されています。しかし、最近日本の各地でもキウイ作りが進んでおり、県下では桐野地区が特に盛んで、六十二人の農家が十五畝に栽培しており、四年目に入った今年も目標収量十トンを目指し着々と特産地づくりが進んでいます。

なつかしの写真

▲ピックアップアイランドの前身? 阿久根音楽同好会のメンバー

牛浜東市さんらを表彰 三百五十人が参加 老人福祉大会



このあと、表彰式に移り、会長功労者として牛之浜老人クラブの牛浜東市さんら三人、優秀老人クラブ、花いっぱいコンクール優良クラブの表彰が行われました。大会後はレクリエーションに移り、歌や踊りで楽しい一日を過ごしました。

表彰は次のとおりです。

○会長功労者

牛浜東市 川畑開 仲村源七

○優秀老人クラブ

田代中 潮 大下 高之口 大

潮ヶ浜 鶴之浦東

○会員功労者

谷口園義 松崎マズ 浜田時夫

川畑早苗 山口友市

○昭和五十六年度花いっぱいコンクール優良クラブ

伊 川畑中 中屋敷 尻無下

大川島 落 飛松 尾崎 山下馬

場 遠矢 下桑原 橋手 濁

大下 中村 浜 鶴本馬場 高松

内田 大尾 折口東 諏訪 田代

下 鶴之浦東 古里 潮之浦下

上原 橋之浦西 下村 桐野

以上の老人クラブでした。

生きがいづくりを進め、健康に気をつけ、長生きしよう」と第六回阿久根市老人福祉大会が十月六日、老人福祉センターで開催され市内七十一の老人クラブから三百五十人の会員が出席、各コンクールの表彰や、レクリエーションなどで一日を楽しましました。

大会では、上野重春会長が、「会員の親睦を図り、元気で楽しく暮らそう。」とあいさつ。川畑市長など来賓が「昔のよさを後世に伝え、明治青年の意気度、これからも長生きしてください」と激励しました。

わたしたちの学校

シリーズ10

校 鶴川内中学校

学級数 3
生徒数 92人
校長 別府隆典



▲菊つくりにもむ園芸クラブ員

群れ田鶴はるか雲になき
岡辺に青く麦もゆる
此処北陸の山里に
独立自主の旗じるし
かざす頭上に誇りあり
輝く我等 鶴川内中学校

僕たちの鶴川内中は、全校生徒九十二名の小規模校ですが、ここ数年の間に体育館、本館、校舎、特別教室と次々新築され、そして今、校庭の拡張整備工事が行われ環境が整いつつあります。そんな中で、皆勉強に運動に新鮮な気持ちで頑張っています。

僕たちの学校生活は、体力増進

学校のあゆみ

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 昭和 22. 5. 5 | 阿久根町立鶴川内中学校として開校 |
| 23. 8. 31 | 分校校舎落成 (田代小学校内に) 9月1日移転 |
| 24. 3. 13 | 鶴川内10300番地に教室6 便所竣工 |
| 27. 4. 1 | 阿久根市制実施に伴い阿久根市立鶴川内中学校と改称 |
| 28. 8. 15 | 産業教育研究指定校として正式指定を受ける |
| 29. 4. 1 | 田代分校独立 阿久根市立田代中学校と改称 |
| 30. 10. 12 | 上水道完備 |
| 31. 4. 1 | 校区変更 永田上・下・東・牟田の四部落は三笠中学校へ |
| 32. 2. 11 | 学林地設定 3月4日植樹整地 3月10日 植林 |
| 32. 5. 5 | 創立10周年記念式挙行 |
| 35. 4. 2 | 弓道場開き |
| 38. 11. 1 | ミルク給食開始 |
| 39. 9. 9 | 完全給食開始 |
| 40. 8. 27 | 更衣室設置 放送室 保健室増築 |
| 44. 9. 3 | 理科室に器具洗場設置 家庭科教室に水道設備 |
| 50. 2. 22 | 屋内運動場竣工 落成式挙行 |
| 53. 2. 25 | 新校舎落成 教室移動 |
| 53. 2. 28 | 県PTA委嘱研究公開 |
| 54. 11. 11 | 本館前花園 築山造成植樹 |
| 55. 11. 1 | 第12回南日本花だんコンクール特選 |
| 55. 12. 18 | 特別教室 (美術・木工・金工室) 建設着工 校舎 |
| 56. 3. 26 | 特別教室竣工落成 |
| 56. 8. | 運動場拡張整備始まる |

を目的とした早朝ランニングに始まり、朝の校内放送で朝自習を始め、一日の学習に備えます。

花だんコンクールで
昨年度出水地区で
特選になる

正課クラブもさかんで、特に園芸クラブは生徒会整備部とともに花園の手入れをし、立派に花を咲かせ、五十五年度に南日本花だんコンクールで出水地区の特選になりました。

また、課外クラブ活動は、全員がどの部かに所属し、厳しい練習

の中で心身の鍛練と集団生活の意義と秩序と和を学んでいます。生徒会専門部活動もさかんで、各種の行事を計画に沿って自主的に活動して、鶴中の縁の下の力持ちとなつていきます。

また、体育館も、正課クラブ・課外クラブ等に充分活用されており、地域の文化・体育の発展に大きく貢献しています。

このように整いつつある環境の中で、僕たちもさらに勉強に運動に頑張るつもりです。

鶴川内中学校生徒会

誕生
おめでと

出生児	保護者	部落名
灰無 公二	浅夫	(牧内)
長濱 久美子	英明	(本町)
牟禮 清佳	国利	(中村)
池田 龍祐	祐志	(濁)
松山 寛明	光男	(大尾)
松本 香	勇藏	(段)
牛之濱 一喜	民義	(山馬場)
福永 順一郎	博美	(新町)
花本 鮎美	良治	(中屋敷)
濱辺 光夫	光徳	(高松)
新町 和道	良幸	(段)
加納 直美	益男	(弓木野)
米次 毅樹	勝美	(新町)
大谷 幸司	輝司	(高之口)
西園 竜一	嘉丸	(高之口)
川原 圭太	修一	(寺山)
西門 幸子	龍二	(上野)
赤崎 喜信	隆信	(高之口)
上野 隆志	三郎	(陳之尾)
柚元 八重	豊	(高松)
宮前 愛	学	(波留)
橋上 幸治	良幸	(新町)
堂後 靖博	猛	(桐之上)
吉岡 れな	栄一	(大谷)
太田 泰郎	泰徳	(大谷)

タバコは
市内のお店で
買いました。

三二話題

菊、今年も満開

菊づくりにがんばる
若松さん



▲菊づくりに勤む若松さん

尾崎小学校の若松益雄さん（五二）は、菊づくりに知られた用務員さん。今年もたんせいこめて作った菊を、市内の官公署、国民宿舎に贈り喜ばれました。

若松さんが菊づくりを始めたのは、今から十七年前。菊作りの好きな先生に教わったのが始まり、それ以来菊作りの魅力に取りつかれ、学校の一角で苗作りをつづけています。

今年も八十鉢ほどの菊を作り、きれいな花を咲かせた。若松さんは、「私し一人で見ると、みんなの心が和むように」とプレゼン

五十歳組母校で運動会
後輩とリレーを楽しむ



▲今年から始まった折多小学校の「50歳組」の入場

秋空に恵まれた十月四日、市内の小学校では運動会が行われ、子供たちの歓声でにぎわいましたが、この運動会に、今年五十歳を迎えた方々がそれぞれの母校で、「五十歳組」の行事で参加、リレーなどの競技を楽しみました。

同久根の名物行事となったこの行事、今年も、三十一回目の阿久根小を最高に大川小・西目小・山下小・尾崎小・折多小の六校で実施されました。

このなかで、今年初めてこの行

事が催された折多小学校では、昭和十九年に同校を卒業した七十五人のうち、地元をはじめ東京、大阪などから四十一人が集まり、また当時の先生も遠くは東京から今村千鶴さん（七二）ら四人もかけつけ、会場のあちこちで再会を懐かしんでいました。

午前十時半、「五十歳組」の出番、ブラカードを先頭に場内をハレード。「人生の節目の五十歳を迎え、懐かしの母校に帰ってきました。食糧不足のなかイモを食べ

市民のひろば



て勉強したのを思い出します。折多小の卒業生として自信と誇りを持ち日本各地でがんばりたい。」とメッセージが場内放送され、会場から温かい拍手を受けました。競技は、男性は四年生の男子と

「市民の健康づくりに」と
百万円を寄付

市内湯の川畑さん

市内湯部落の川畑治さん（六十歳）が、十月二十九日市役所に川畑市長を訪ね、「市民の健康づくりのため役立ててください。」

女性は、二年生の女子とのリレーを行い、勝ち負けは二の次とがんばっていました。このあと、市内の旅館で同窓会を開き、恩師を囲み親交を深めていました。

と百万円を寄付しました。

川畑さんは最近体をこわし、二カ月の病院生活を送っていました。このほど元気に回復「健康のありがたさがわかりました。市民の健康づくりに」と寄付されたもので、市では川畑さんの意向をくみ健康づくりの為に役立てることにしています。

かけっこや遊戯に
親子楽しむ

私立の保育園・幼稚園運動会

秋風を胸いっぱい、市内の私立の阿光保育園、蓮華保育園、阿久根幼稚園、めぐみ幼稚園、みどりが丘保育園ではこの十月運動会がにぎやかに行われました。

どこの園でも趣向をこらしたプログラムを盛り込み、かけっこや遊戯に園児たちは跳んだり、はねたりして運動会を楽しんでいました。



▶市長に百万円を寄付する川畑さん

伸よし学級運動会

トしているものです。
総合グラウンドで楽しく
元気でがんばろう」と、十月
二十九日、市の総合グラウンドで
市内の伸よし学級の運動会が行わ
れました。

運動会には、市内の小中学校六
校から五十人の子どもたちが参加
し、「かけっこ」や「アメ食い競
走」などに楽しんでいました。



▲アメ食い競走に楽しむ

大丸部落が優勝

市内部落対抗ソフト大会

第十三回部落対抗ソフトボール
大会は、十月二十五日総合グラウ
ンドに市内の部落から二十五チー
ム、三百五十人が参加して行われ
大丸部落が優勝しました。

二位以下は次のとおりです。
二位 永田上部落、三位 高松、山
下馬場部落でした。

心身の鍛練に夜間歩行

グラウンド 40キロに青春をぶつつける
紫尾林道

市青協

阿久根市青年団連絡協議会（田
中正文会長）では、十月十七日団
員三十五人が市の総合グラウンド
から紫尾林道までの往復四十キロの
夜間歩行を実施、九時間かかって
全員元気に完歩しました。
心身の鍛練と、何か一つでも目
的を達成しようというのがねらい。
午後八時総合グラウンドに集合
した団員は、田中会長から「元氣
を出してがんばろう。」と激励を
受け、団旗を先頭に八時半出発し
ました。

コースは、グラウンドから牧内
を通り、鶴川内茶団地をぬけ、田
代県道を紫尾林道までの往復四十
キロ。
団員は、歌を歌ったり、話をし
ながら夜道を歩きつづけた。折返
しの林道近くの登り坂では、足に
マメを作り男子から手を引かれて
歩く女子団員もあつたが、午前零
時林道に到着。ここで夜食と休憩
をとり、再びゴールのグラウンド
をめざして歩き、まだ夜の明けき
らない午前五時、九時間かかって



▲団旗を先頭に夜間歩行に挑む団員

全員歩きとおしました。
疲れきった女子の一人は「きつか
ったけど青春の思い出になりました。
」と満足していました。

入園者も元気にハッスル

福祉施設で運動会

この十月、市内の福祉施設（聖
園・桜ヶ丘荘・蓮の実園・愛和園）
で運動会が行われ、入園者と家族
が一緒になって「輪投げ」や「ゲ
ートボール」「玉入れ」などの競



技に一日楽しんでいました。
写真は桜ヶ丘荘の運動会

市文化祭にぎわう 市民多数が芸術に親しむ

芸術の秋のフィナーレを飾る
市文化祭は、十一月二・三日の
二日間、市民会館を中心に催さ
れ、多数の市民がつけかけにぎ
わいました。

三十五回目を迎えた今年の文
化祭は、出水地区芸術祭と併せ
て行なわれ、各市町の催し物や
小学生の図画、書道やお年寄
りの作品展、青年団の意見発表な
ど展示、演芸共にパワエター
に富み、会場には親子連れなど
の市民が訪れ、秋の芸術に親し
んでいました。





巡回児童相談所を開設

十一月十九日

○期日 十一月十九日
十時半から十四時まで

○場所 阿久根市民会館

○対象 市内の十八歳未満の方で健康や、心身の障害、非行などについて相談を受けます。

なお相談には県の中央児童相談所があたります。

青年海外協力隊員募集

○ねらい 開発途上国に対し優れた技術を持つ日本の青年を派遣し、その国の国づくりに貢献しようとするものです。

○年齢 二十歳から三十五歳までの男女

二十歳から三十五歳までの男女

B & G 「若人の船」参加者募集

締切り 11月30日まで

○主催 財団法人「ブルーシー・アンド・グリーン財団」

○実施期間

Aグループ、昭和五十七年三月十四日から二十四日まで

○参加対象者

○渡航先

台湾・香港

○参加対象者

Bグループ 昭和五十七年三月二十三日から四月三日まで

○参加対象者

○渡航先

台湾・香港

○参加対象者

下さい。

○融資額 千八百万円以内

利率 八・三割

相談は商工会議所へ

電話の工事注文はお早く

年末・年始の工事を
予約受付中

電話局

十二月は工事注文が殺到します。年末には、新規とりつけ、移転などを希望の方は、なるべく十一月中にお申込みください。

わが子への愛を世界のどの子にも

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

旅券案内はサービス電話で

受付電話 09967②1000

番(無料)へ

陸海空士

二等自衛官募集

○応募資格

採用予定月の一日現在十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する男女。

○応募手続 市役所市民課へ

○試験科目
国語・数学・社会・作文・口述試験・身体検査

詳しいことについては、市役所市民課へ問い合わせてください。

忘れなどがあり、再び出直さなければならぬ申請者も多く、また、手続き方法の問い合わせも多く今度のサービス電話の設置になったものです。

必要書類や説明など親切におしえてくれます。

この体験航海では、参加者一人の直接経費二十五万八千円のうち十六万三千円を財団が負担する。

○申込み期間
十一月二十日まで教育委員会社会体育課へ

詳しくは社会体育課へおたずねください。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございます。

白肌武志(弓木野) 谷口秋義(尾崎) 前田イセ(茂野) 堀切キクノ(浦) 赤瀬川勝彦(東牧内)

水口百合(段) 野村三也(黒之浜) 園田辰雄(新町) 石原延子(大漣)

◎「ヤクルトのおじさん」で知られる小原豊光さんから今年もまた三万一千五百七十八円をいただきました。

このお金は、毎日の買物の釣銭のなかから一円、五円、十円を一年間ビンに入れて積み立てられたものです。

小原さんからは、毎年こうして善意の献金をいただいております。ありがとうございます。



▲社協に寄付する小原さん